

# チェコ ポーランド ハンガリーの ポスター展

Posters of CZECH, Poland and Hungary



青幻舎「ビジュアル文庫」より  
シリーズ創刊

「チェコ・ポーランド  
ハンガリーのポスター」

京都工芸繊維大学 美術工芸資料館  
デザインコレクション

2017年6月発売!

ISBN978-4-86152-594-0 C0370

手描きっぽいおらかなユーモアで、  
時代をくすぐっている面白さ。  
谷川俊太郎 著文

京都工芸繊維大学  
美術工芸資料館  
MUSEUM AND ARCHIVES

2017| 6.19 | 月 | ⇒ 8.11 | 金・祝 |

開館時間：10:00-17:00(入館は16:30まで)  
休館日：日曜・祝日(但し、8月11日(金・祝)は開館いたします。)  
入館料：一般200円/大学生150円/高校生以下無料  
\*京都・大学ミュージアム連携所属大学の学生・院生は学生証の提示により無料で入場できます。  
\*8月10日、8月11日はオープンキャンパスを開催いたします。当日の入館は無料です。

京都工芸繊維大学  
KYOTO INSTITUTE OF TECHNOLOGY  
京都・大学ミュージアム連携  
University Museum Association of Kyoto



<http://www.museum.kit.ac.jp/>

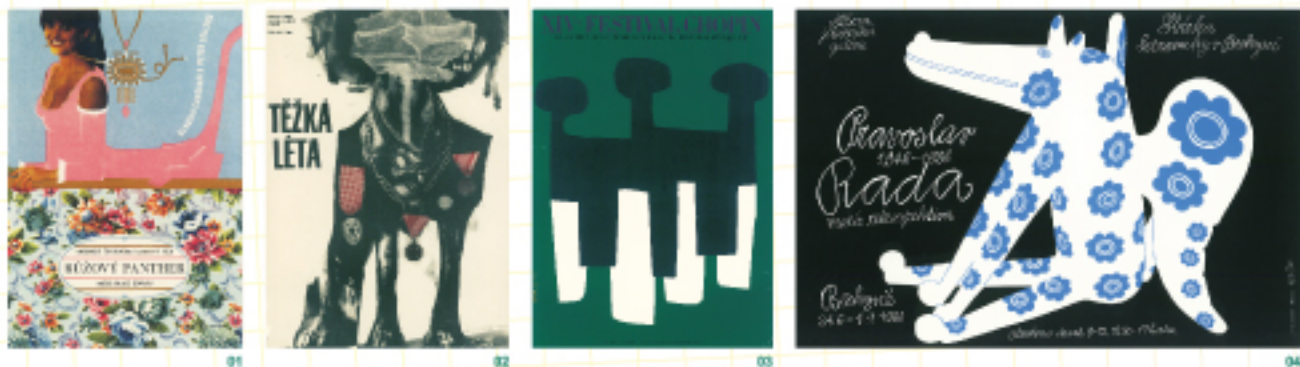


# チェコ ポーランド ハンガリーのポスター展

チェコ、ポーランド、ハンガリーは、第二次世界大戦後から1989年までの約半世紀にわたり、ソ連の影響下にある社会主義国となりました。これらの体制下では、芸術家たちは公式な場で自由に芸術活動をおこなうことを許されなかったため、表現の場を求め、あるいは生活の糧を得る手段として、絵本やエディトリアルデザイン、演劇や映画、展覧会、コンサートなどの催しを告知する文化ポスターなどのグラフィックデザインの分野で活躍しました。社会体制下の国々では、資本主義国に見られる商業ポスターが存在せず、このような文化的なポスターなどの広告が著しく発達を遂げました。本展覧会は、2015年から2017年にかけて京都工芸繊維大学美術工芸資料館で企画展示したハンガリー、ポーランド、チェコのポスターに関する3度の展覧会の集大成となっています。各国の文化、言葉、生活、歴史から生み出される表現の違い、さらにはデザイナーひとりひとりの持つ個性や遊び心をお楽しみいただくと幸いです。

## Czech | チェコ

チェコスロヴァキアの映画ポスターは、様々な造形分野で活躍する芸術家によってデザインされており、彼らは日々の創作活動から生まれたアイデアや表現力を映画ポスターの中で発揮しました。コラージュ、フォトモンタージュ、イラストなどの技法を用いた半抽象的な表現が大半を占めており、作り手がポスターを自由に創作することだけでなく、それらを見る側も想像力を働かせて自由に解釈することが大切にされていました。映画ポスターのほかにも、演劇やコンサート、展覧会などの個性豊かなポスターが多く作られました。



01. ベドジフ・ドrouヒー(映画「ピンク・パンサー」)(1963 アメリカ))1966年
02. カレル・タイスィク(映画「素晴らしい年」)(1948 イタリア))1967年
03. ヤロスラフ・スーラ(第14回ショパン・フェスティバル1973 (フランス版))1973年
04. ヨゼフ・フレイシャー(ブラヴォー・ラダ巨獣展)1988年

## Poland | ポーランド

第二次世界大戦でワルシャワの街が破壊されたポーランドでは、街中に掲示された個性豊かなポスターが国民の心を癒し、街の再建に貢献しただけでなく、それらのポスターが国際的に高く評価されたことも人々を勇気づけ、国家がポスターの制作に特に力を入れて取り組むきっかけとなりました。ポーランドのポスターは、写真を用いた表現が少なく、手描きのイラストレーションを得意とする画家が先頭になって制作したことが特徴です。映画や演劇、サーカス、コンサートなどの幅広いジャンルのポスターが作られました。



05. フランジシュク・スタロヴィエイスキ(映画「雲の傘」)(1958 ハンガリー、チェコスロヴァキア))1965頃
06. ヤン・レニツァ(「タンホイザー」リヒャルト・ワーグナー作))1971年
07. ヘンリク・マシュフスキ(ポーランドへいらっしやい(ドイツ版))1966年
08. マチエイ・ウルバニェツ(世界こどもの日)1970年頃

## Hungary | ハンガリー

1960年代頃のハンガリーのポスターは、ポーランドやチェコと同様に、コラージュ、フォトモンタージュ、絵画、タイポグラフィなどの技法により、独自の表現が追求されています。チェコやポーランドに比べると抽象的表現やシュールな作風のポスターが少なく、西洋文化を象徴するポップアートやアメリカから世界へ広まったサイケデリック、オプアート、スイススタイルなどの様々なスタイルが共存した、色鮮やかなポスターが多く見られます。



09. シラス・ジョーゾー(映画「ドン・ガブリエル」)(1966 ポーランド))1967年
10. コヴァーチ・ヴィルモシュ(映画「春の半歩」)(1966 チェコスロヴァキア))1967年
11. マーチャー・アンドラーシュ(映画「未亡人の花嫁たち」)(1964 ハンガリー))1964年
12. バログ・イシュトバン(バルトーク・ベラ 記念コンサート)1966年

同時開催 | 「住友春翠の文化遺産—第五回内国勲業博覧会と近代陶芸作家たち」(2017年5月15日~7月8日)

お問合せ | 京都工芸繊維大学美術工芸資料館  
〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町  
TEL:075-724-7924

アクセス | 京都市営地下鉄烏丸線  
「松ヶ崎」駅下車徒歩8分  
1番出口から南(西)へ約400m  
4つ目の信号を右(東)へ約180m

京都バス「高野泉町」下車  
徒歩10分

